

第3回日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会 議事録

日 時 令和7年3月10日（月）午後3時から午後4時23分まで
 場 所 日進市役所本庁舎4階 第2・3会議室
 出 席 者 加藤智、武田光史、永瀬孝明、清野雅子、内藤幹洋、中川貴弘、
 岡田美智、加藤智美、中川学、増田久子、松崎貞則、萩野百合子、
 川北登志雄、杉浦壮起、菅祐美子、若山諒太（敬称略）
 欠 席 者 1名（宮寄友和）
 事 務 局 岩田憲二（教育長）、伊東あゆみ（生涯学習部長）、高柳秀史（学習政策
 課長）、河合一成（学習政策課課長補佐）、海野享子（学習政策課学習政
 策係係長）、高橋雅樹（学習政策課協働活動専門員）、澤田千歳（学習政
 策課協働活動専門員）
 関係職員 伊藤美乃里（学び支援課主幹）、浅井清（学び支援課課長補佐）
 浅井真弓（学校教育課課長補佐）、小出佐和子（子育て支援課課長補佐）
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 有（5名）

次 第	
1 あいさつ	
2 議題	
(1) 部活動地域移行に係る国、県及び近隣自治体の動向について	
(2) 令和6年度に実施している取組の進捗状況について	
(3) 実証事業に関するアンケートについて	
(4) 中学校部活動の今後の方針（案）について	
(5) 日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会報告書（案）について	
3 その他	
(配付資料一覧)	
1 次第及び日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会委員名簿	
2 第3回会議説明資料（資料1）	
3 小学校放課後活動実証事業アンケート結果（資料2）	
4 中学校地域クラブ活動実証事業アンケート結果（資料3）	
5 日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会報告書（案）（資料4）	
発言者	発言内容
事務局	本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。 ただいまより、令和6年度第3回日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会を開催いたします。私は生涯学習部長の伊東と申します。よろしくお願いいたします。 本日の会議につきましては、17人の委員のうち、半数以上のご出席がございましたので成立いたします。

	それでは次第の1「あいさつ」です。始めに、教育長の岩田憲二よりご挨拶申し上げます。
教育長	皆様こんにちは。お忙しい中お集まりいただいておりますので、長くならないよう、部活動の地域移行に関してお話させていただきます。 まず一つ目は、子どもの指導という観点についてです。私たちの年代の教員は、部活動で子どもたちを育ててきたという認識があります。そんな部活動が好きで教員になりましたが、最近、自分の専門外の分野を担当することや、土日の活動がかなり負担であるという話を聞きます。そのため、今後、外部から指導者を入れることは、きっと教員の助けになると思います。一方で、その指導者は目の前の子どもたちに対して、技術以外の教育という部分にはどの程度関わるのか。その両立、割合という部分は、今後具体的に移行が進む中で、市として上手に考えていきたいと思っています。 次に、外部指導者の働き方についてです。教員が兼職兼業をしたり、民間の外部指導者が入ったりしたとしても、皆、自分の本来の仕事もあるので、労働基準法の範囲を超えてしまうのではないかと考えています。このことは結局やる気のある指導者に不自由さを与えることになってしまいます。なお、最近教員の給与に関するニュースもありましたが、教員というのは時間外の仕事が明確ではありません。また、給与の段階的引き上げという議論の中でも、教員の職務について何の定義もせずに数字だけが求められるという現状もあります。教員の働き方改革とともに、労務管理の側面から、活動の両立、住み分けということも今後課題になると思います。 三つ目は地域との関わりについて、できれば地元の方に指導者として活躍していただきたいと思っています。すべての分野を賄うことは難しいと思いますが、地元に従来からある、すでに活動されている団体も生かしながら、子どもたちを巻き込んだ活動ができれば良いなと思っています。 何においても、さじ加減は地域によって違ってきます。欲張って言えば、子ども、教員、学校、地域、外部指導者、すべてにおいてプラスになる日進独自の地域移行になればいいと思っています。よろしくお願いいたします。
事務局	次に委員長の加藤先生からご挨拶をお願いします。

委員長	最近、「小学校～それは小さな社会～」という映画を観ました。内容は、いかに学校の教員が努力して子どもたちを育ててきたか、ということが描かれたものでした。部活動のことを直接描いているものではないのですが、これまで学校の先生方が善意と努力で子どもたちを育ててきたこの枠組みを、形は変わっても続けていく、子どもたちのためになる活動にしていくということが、部活動地域移行のミッションなのかもしれないということを改めて考えました。 子どもたちのため、より良い形にしていけるようご協力をよろしくお願いいたします。
事務局	ありがとうございました。 それでは議事に入る前に、資料の確認をお願いします。 事前にお渡ししました資料は、 ・ 次第及び日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会委員名簿 ・ 資料１ 第３回会議説明資料 ・ 資料２ 小学校放課後活動実証事業アンケート結果 ・ 資料３ 中学校地域クラブ活動実証事業アンケート結果 ・ 資料４ 日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会報告書（案） です。 不足がありましたらお申し出ください。 それでは、以後の議事進行は、加藤委員長にお願いしたいと思います。
委員長	それでは、議事の進行を引き継ぎます。委員の皆様には円滑な議事進行にご協力いただきますようお願いいたします。 本委員会は傍聴が可能な会議となっておりますが、本日は傍聴希望者がありますか。
事務局	５名の傍聴希望があります。
委員長	本日は、個人情報等の公開するに適當ではない事項はありません。委員の皆様の同意を得て入室を許可したいと思います。よろしいですか。
委員	（異議なし）

委員長	それでは傍聴者をお通しください。 (傍聴者入室) 傍聴の方は傍聴のマナーをお守りいただきますようお願いいたします。 では次第の２「議題（１）部活動地域移行に係る国、県及び近隣自治体の動向について」事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料１の１から５ページに基づき説明)
委員長	ただいまの事務局の説明に対し、ご意見、ご質問等はございますか。 (しばらくして) ご意見ご質問はないようですので、続いて、「(２)令和６年度に実施している取組の進捗状況について」事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料１の６、７ページに基づき説明)
委員長	ただいまの事務局の説明に対し、ご意見、ご質問等ございますか。 (しばらくして) ご意見ご質問はないようですので、続いて、「(３)実証事業に関するアンケートについて」事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料１の８から１９ページ、資料２、資料３に基づき説明)
委員長	ただいまの事務局の説明に対し、ご意見、ご質問等はございますか。 (しばらくして) ご意見ご質問はないようですので、続いて「(４)中学校部活動の今後の方針(案)について」事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料１の２０ページに基づき説明)
委員長	ただいまの事務局の説明に対し、ご意見、ご質問等はございますか。
委員	教職員の兼職兼業について、認める方向での軌道修正は有り難く思います。活動時の事故等があった時に、兼職兼業の形をとることで、責任の所在が明確になり、保険の適用や労務管理の仕組みが整うため、安心して活動が行えます。今後もそういった観点で進めていただきたいと思います。 また、部活動が今後どうなっていくのか、という話の中で、自分も以前からずっと思っていました、例えば水泳に関してはずっと昔から部活動ではなく、スイミングスクールに通うことが一般的であり、指導者も職業として完全に成り立っています。保護者の方のアンケートで部活動をなくしたくないという話がありましたが、他の種目も、そのような形で指導する体制が整っていき、部活動に代わる活動が継続できたらと、個人的には思います。 さらに、小学校の部活動がなくなり、空いた体育館や運動場を使

	って、部活動とは切り離れたところでの子どもの居場所づくりという視点で、放課後子ども教室等の延長上で何かできたら良いと思います。そこでは子どもたちがいろいろな活動に親しめる可能性がありますし、その後に中学校にも波及し、同じように中学校の施設等を使つての体験活動も期待できます。一方で、それら体験活動とは別に本当に専門的な指導を受けるという、二極化となるのも考えられます。
事務局	兼職兼業については、やはり現状活動されている先生方がいる以上は、しっかりとそれを認め、体制を作ったうえで行っていただくべきだと思っています。これは学校の責任だけでなく、教育委員会が主導し、申請方法や管理方法など、しっかり把握できるよう体制づくりをしていきたいと思っています。 また、子どもの居場所づくりという点におきましても、将来的に部活動が少しずつ縮減していくという中で、部活動の延長ではなく、新たな活動の形を模索していく必要があると考えています。
委員長	ありがとうございます。今後の方向性を決めていく重要なところかと思っています。他に何かございませんか。
事務局	もう1点補足させていただきます。 資料1の20ページ「部活動を補完する地域移行」の項目について、「事業の持続可能性を高めるために地域のリソースを活かす」という表現をしております。こちらは地域の方に指導者として入っていただく想定なのですが、その指導者の形態としては、市が部活動指導員として雇う、保護者の方々で行っている外部練の延長で活動していただく、教員の兼職兼業、にしんスポーツクラブやスポーツ協会等既存の団体をお願いする、などたくさんの手法が考えられます。また、先ほど費用が高いと説明はしましたが、民間事業者への委託も除外するものではありません。 民間事業者へすべて委託するという自治体もありますが、日進市はなるべく様々な手法をもって、中学校の部活動の地域移行を進めていきたいと考えております。
委員長	ありがとうございます。他にいかがでしょうか。
委員	梨の木小学校は、学校の仕組み上、校舎内のセキュリティを地域開放部分と切り離せるようになっていているため、今後、部活動を補完する活動に使っていただければ良いと思っています。ただし、自由ということではなく、例えば学校の備品が壊れてしまったらどうするのか等、いろいろな問題が想定されるので、先に対応を決めておく必要があります。 さらに、これまで学校現場では、一般の方が学校に入ることに対して抵抗を感じていましたが、普通教室には入れないとか一定の区切りをすることで地域の人を受け入れも可能かと思っています。いろいろな対応を考えるとともに、教職員の理解も必要であると感じています。

	また、周知方法についてですが、コドモンの配信を読まない保護者も多くいますので、それだけではなく、皆さんに理解していただく機会が多くあると良いと思います。
事務局	ありがとうございます。お話のとおり、梨の木小学校は地域開放ブロックを切り離すことで、休日等に使用できる可能性があるという一方で、楽器や家庭科室の備品等、授業で使うものの管理において課題もあります。梨の木小学校を第一歩として、他の学校にも施設の休日の地域開放を広げていけるよう、学校と調整をしながら進めていきたいと思っています。よろしくお願いします。 また、保護者の方への周知方法については、コドモンだけでなく様々な手法で周知をしていきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。
委員長	ありがとうございます。周知方法については、自分も自治体からの情報を見逃してしまい、子どもが必要な情報が得られなかったという経験があります。子どもたちに直接関わることで、是非何か子どもたちがアクセスしやすい方法も検討していただけたらと思います。 その他にご意見等ありますでしょうか。 (しばらくして) 他にご意見ご質問がないようですので、続いて、「議題(5) 日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会報告書(案)について」事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料4に基づき説明)
委員長	事務局からの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。
委員長	(しばらくして) 様々な意見があり、部活動への想いもありますので、一概に方向性を決めるということは難しい判断ではあると思いますが、この検討委員会では、教職員や子どもたちの将来も考えつつ、方向性を決定していく必要がありますので、採決を取りたいと思います。 では、特に修正意見等はございませんでしたので、内容については、修正無しとし、本日の意見を報告書に追加した上で、まとめたいと思います。追加後の最終的な内容は、委員長へ一任と言うことでお願いしたいと思いますが、ご承認いただける方は挙手をお願いしますでしょうか。
委員	(賛成多数)
委員長	賛成多数ですので、承認と致します。 この検討委員会の意見としては、「中学校部活動は令和9年4月から段階的に縮小を進め、地域クラブへの移行体制が整った部活動から順次地域クラブへ移行していく」とする方針とします。 ただし、大枠の方針はこれで決定としますが、国、県や近隣自治体の動向や保護者、教職員からの要望や指摘もあるかと思うので、

	学校の実情に応じて、生徒の気持ちに寄り添った対応をお願いしたいと思います。
委員長	以上で方針を決定しましたが、今後のスケジュールを確認しておきたいと思います。事務局から説明よろしいでしょうか。
事務局	報告書については、本日いただいたご意見を踏まえて事務局で修正し、加藤委員長へ確認していただきます。確認後、加藤委員長から教育長へ提出をしていただきます。提出していただいた報告書は、教育委員会へ議案として提出し、承認いただけましたら、事務局から本市の校長会へ報告し、各中学校へ中学校部活動の段階的縮減及びその後の地域クラブへの移行の方針を通知することとなります。また、同時期に保護者向けの連絡システム「コドモン」や、ホームページ等を通じて市民のみなさまへ周知していく予定です。それを受けて、各中学校でも、様々な形で周知をいただくことになるかと思っています。 令和7年度は、中学校において実証事業を実施する予定ですが、令和8年9月の部活動の縮減までに、それぞれの学校の、それぞれの部活動で、ある程度の見通しを立てられるよう、学校、顧問との調整を進めてまいります。また、併せて地域クラブの指導者となる地域の人材・団体の募集を進めたいと考えています。
委員長	ありがとうございました。 事務局からの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。 (しばらくして) ご意見ご質問がないようですので、続いて、次第3「その他」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料1の21ページに基づき説明)
委員長	ありがとうございました。 事務局からの説明に対して、ご意見、ご質問等はございますか。 (しばらくして) それでは、本日予定していた内容は終了しましたので事務局へお返しします。
事務局	各委員の皆様、長時間にわたり活発なご意見ありがとうございました。 それでは以上をもちまして、令6年度第3回日進市立小中学校部活動地域移行検討委員会を閉会させていただきます。 大変お疲れ様でした。どうもありがとうございました。